



学習会企画

らいおんぐるーぷってなあに？

知っているようで
よくわかってないんだよね…
教えてもらおう

6月1日（日）総会終了後

14:15～15:45

佐倉市西部地域福祉センター
2階会議室

講師 ＊ 千葉聴覚障害者センター支援課
課長 森 美子 氏

- らいおん工房って？
- らいおん千葉って？
- らいおん香取って？
- らいおん神明って？
- らいおんホームそがって？

総会終了後の
学習会企画♡

ろう重複障害者の
作業所にも
色んな種類があるのね

おしえて！レンちゃん

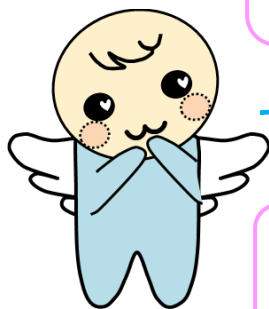
オノマトペってなあに？

雨がザーザー降るの「ザーザー」や
風がそよそよ吹くの「そよそよ」などを
オノマトペっていうの。

ワクワクする♡とか？

ろう者に伝わる表現方法をじっくり考えてみるのも面白いね。

※「ワクワク」は期待や喜びなどで心が落ち着かない様子



サークル紹介

私たちは匝瑳市手話サークル「もくれん」です。匝瑳市八日市場公民館で毎月第2、4木曜日の夜に定例会を開催しています。今現在、会員数は11名と少ないですが、西海匝ろう協会、ちば通研海匝地域班、匝瑳市・旭市の手話サークルと連携をして、活発な活動をしています。



「もくれん」が出来たきっかけは、当時の八日市場市(現匝瑳市)ボランティア協会の会長さんが手話講習会を開催して欲しいと要望し、講習会参加者から「もっと手話を覚えたい!」と声があがり、平成元年に結成されました。



2024年度は西海匝ろう協会が創立30周年だったこともあり、記念行事として石川県障害者センター施設長の藤平淳一氏を講師にお招きして能登半島地震をテーマに講演会を開催しました。

また、豊洲とお台場への日帰り旅行や、ろう協主催のスポーツ交流会なども開催され、スポーツ交流会においては卓球部出身のろう者から基本的な動き、紙皿を使った卓球ビンゴ、たこ焼き器にピンポン玉を入れるゲームなど、初心者でも楽しめる交流会となり楽しい時間となりました。

特集 29 号
東総ブロック匝瑳市
もくれんの巻～



毎年恒例行事としては、匝瑳市社会福祉協議会と匝瑳市が連携して開催されるボランティアキャンペーンに、市内で昼に活動している手話サークル「もみじ」と共に手話コーラスで参加しています。特筆すべきは匝瑳市長の宮内康幸氏が前年と連続して私たちと共にステージに上がり、手話コーラスに参加してくれたことでしよう。



4月12日には西海匝ろう協会主催行事として株式会社プラスヴォイス代表取締役の三浦宏之氏を講師に迎え「災害時の情報保障や支援について」と題した講演会を開催しました。近隣のろう者、手話サークルならびに行政からは市長、福祉課、総務課も参加していただき、災害時の情報保障や遠隔手話通訳について大変学びが深まりました。

これからも匝瑳市手話サークル「もくれん」をよろしく願いいたします。

第8回役員会議 5月18日(日) 佐倉市西部地域福祉センター
総会準備、学習会準備、三団体会議報告・その他



県サ連ホームページ <http://kensaren.sakura.ne.jp/>
発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久